



2013年3月期 決算説明会

2013年4月26日
株式会社デンソー

DENSO

©DENSO CORPORATION All rights reserved.
This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

1. 日本、北米、豪亜地域の車両生産の増加により
前年比で増収増益

2. 配当は、期末は37円、年間では前年より
18円増加の64円

3. 来期は、車両生産台数の増加や円安の
追い風により増収増益

2013年3月期 連結決算

02 / 28

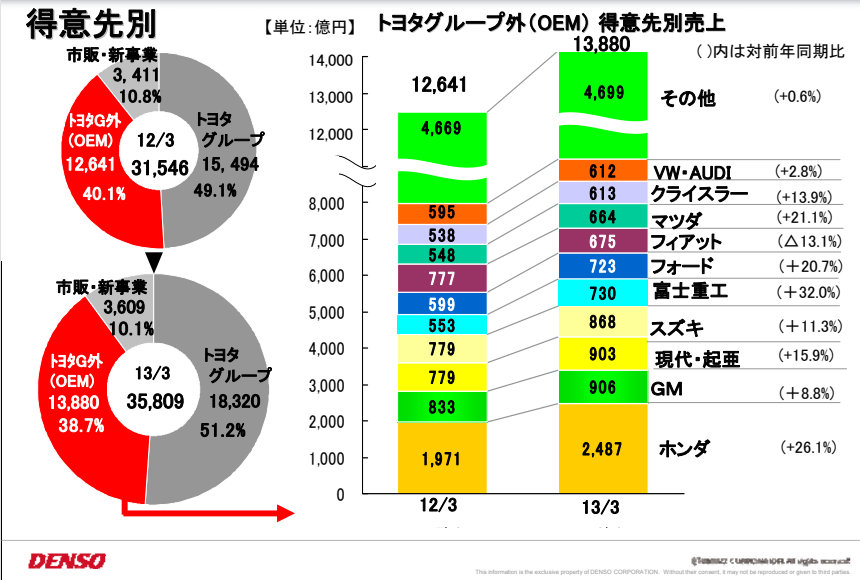
	（）内は売上高比		【単位：億円】	
	13/3期実績	12/3期実績	増減額	増減率
売上高	35,809	31,546	+ 4,263	+ 13.5%
営業利益	(7.3%) 2,624	(5.1%) 1,607	+1,016	+63.2%
経常利益	(8.3%) 2,960	(5.7%) 1,808	+1,153	+63.8%
税引前利益	(7.9%) 2,819	(5.2%) 1,635	+1,184	+72.4%
当期純利益	(5.1%) 1,817	(2.8%) 893	+924	+103.5%
為替レート	83円/ドル 107円/ユーロ	79円/ドル 109円/ユーロ	4円 円安 2円 円高	
国内車両生産	919万台	889万台	+ 30万台	+ 3.4%
海外日系車生産 (内、北米)	1,663万台 (502万台)	1,465万台 (395万台)	+ 198万台 (+107万台)	+ 13.5% (+27.1%)

DENSO

©DENSO CORPORATION 2013 All rights reserved.
This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without that consent, it may not be reproduced or given to third parties.

<連結決算概要>

- ・売上高は3兆5,809億円。前年比 +4,263億円、13.5%の増収となりました。
- ・営業利益は、研究開発費をはじめとする経費の増加などがありましたが、売上増加による操業度益により、2,624億円と、前年比 +1,016億円、63.2%の増益となりました。
- ・受取配当金などの営業外収支336億円を加え、経常利益は2,960億円と、前年比 +1,153億円の増益となりました。
- ・当期純利益は1,817億円と、前年比 +924億円の増益となりました。



<得意先別売上>

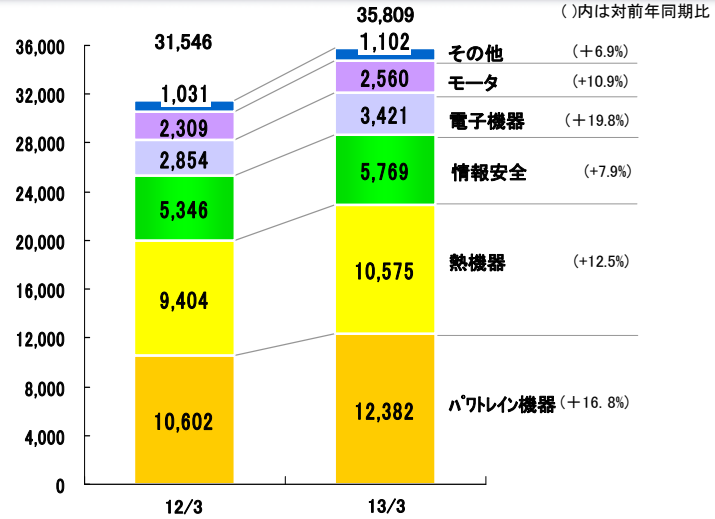
- ・トヨタグループ向けの売上は51.2%と、車両生産の増加やハイブリッド関連製品の売上増加により、2,827億円の増収となりました。
- ・トヨタグループ以外では、ホンダは車両生産の増加とNシリーズ向けの拡販があり、また現代・起亜向けはカーナビなどの拡販、富士重工は日本・北米での車両生産の増加や拡販により、それぞれ売上が増加しました。

2013年3月期 連結売上高増減要因

04 / 28

製品別

【単位：億円】



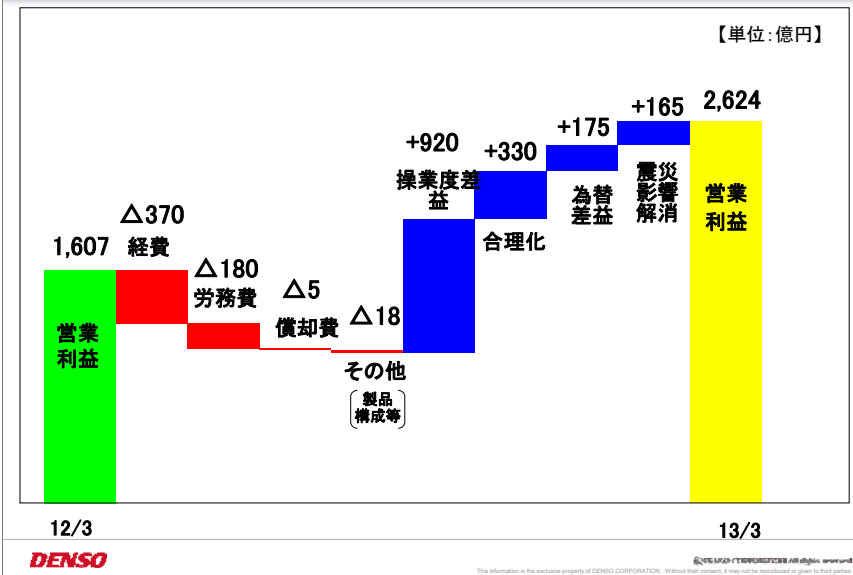
DENSO

©DENSO CORP. 2013. All rights reserved.

This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without that consent, it may not be reproduced or given to third parties.

<製品別売上>

・パワートレイン機器は、ハイブリッド関連製品やガソリン関連製品の売上増加し、電子機器では、デバイス関連製品が増加しました。



<営業利益の増減要因>

一番左の前期の営業利益1,607億円を出発点とし、右方向に増減を表しています。

主な点は以下のとおりです。

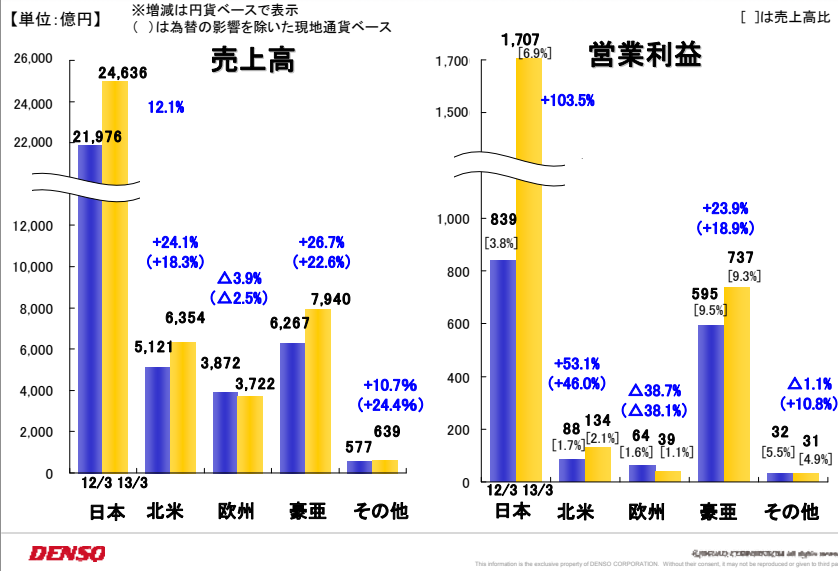
マイナス要因

- ①経費増 ▲370億円は、特に情報安全や環境分野での研究開発費の増加によるものです。
- ②労務費増 ▲180億円は、昇給と残業の増加等によるものです。

プラス要因

- ①売上増加による操業度益が +920億円。
- ②合理化努力 +330億円は、生産性向上などによるものです。
- ③為替差益 +175億円は、主にドルで4円の円安によるものです。
- ④震災影響解消 +165億円は、昨年の震災時、代替品の調達等による一時的な費用が今年は無かったためです。

以上により、営業利益は2,624億円となりました。



<地域別の売上・営業利益> ※現地通貨ベース

- ・日本は、震災後の減産からの回復と、第2四半期までのエコカー補助金による車両生産増加により、売上は、前年比+12.1%の増収となりました。
営業利益については、売上増加による操業度益や合理化努力により、1,707億円と、大幅な増益となりました。
- ・日本以外では、欧州は景気低迷により車両生産が伸び悩み、減収減益となりましたが、それ以外の地域は、売上増加に伴う操業度益により、増収増益となりました。

2014年3月期 通期予想

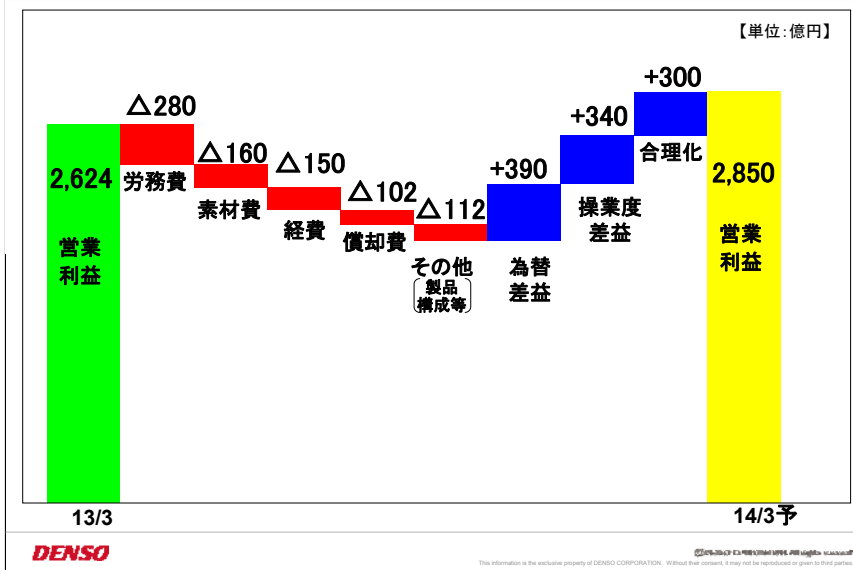
07 / 28

	【単位:億円】			
	14/3期予想	13/3期実績	増減額	増減率
売上高	38,000	35,809	+2,191	+6.1%
営業利益	(7.5%) 2,850	(7.3%) 2,624	+226	+8.6%
経常利益	(8.0%) 3,030	(8.3%) 2,960	+70	+2.4%
税引前利益	(8.0%) 3,030	(7.9%) 2,819	+211	+7.5%
当期純利益	(5.1%) 1,940	(5.1%) 1,817	+123	+6.8%
為替レート	90円/ドル 120円/ユーロ	83円/ドル 107円/ユーロ	7円 円安 13円 円安	
国内車両生産	904万台	919万台	▲15万台	▲1.6%
海外日系車生産 (内、北米)	1,769万台 (558万台)	1,663万台 (502万台)	+106万台 (+56万台)	+6.4% (+11.2%)

DENSO ©DENSO CORPORATION All rights reserved.
This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without that consent, it may not be reproduced or given to third parties.

＜通期予想＞

- ・売上高は3兆 8,000億円と、前年比 2,191億円の増収、
営業利益は 2,850億円と、226億円の増益を見込んでおります。
- ・設備投資は、海外での能力増強などを中心に2,600億円、
研究開発費は3,500億円とし、引き続き高水準の研究開発費を
維持していきます。



<通期予想の利益増減要因>

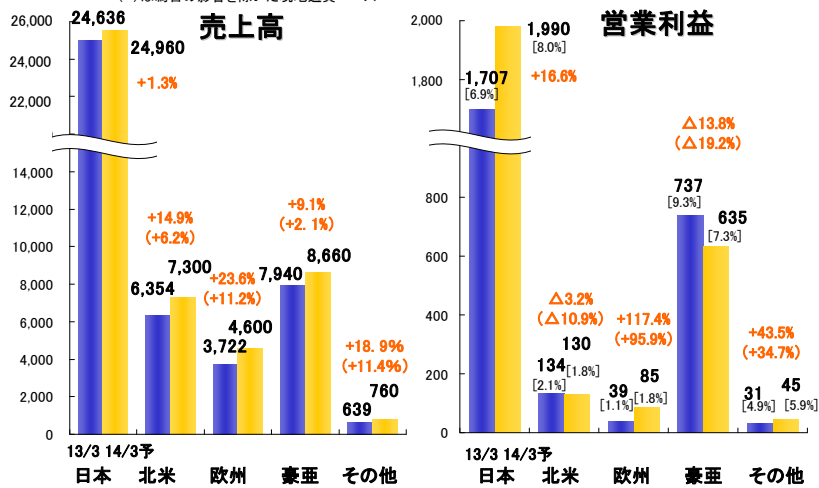
- ・外部要因として為替差益、操業度益、素材で、プラス570億円。今後の成長のための先行投資として研究開発費を中心に固定費の増加がでマイナス590億円。
- ・小型車シフトによる製品構成等でマイナスがあるものの、合理化でカバーし、営業利益は前年比+226億円増加した2,850億円となる見込みです。

2014年3月期 通期予想 所在地別セグメント情報(前年比)

09 / 28

【単位:億円】 ※増減は円貨ベースで表示
()は為替の影響を除いた現地通貨ベース

[]は売上高比



DENSO

©2014 DENSO CORPORATION. All rights reserved. This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

<通期の売上・営業利益> ※現地通貨ベース

- ・北米と豪亜地域は増収減益、その他の地域では増収増益となる見込みです。

1. 2015年中期方針
2. 取り組み
 - (1) 成長を支える技術開発(省燃費)
 - (2) 成長を支える技術開発(安心・安全)
 - (3) トヨタTNGA活動への取り組み
 - (4) 新興国向け製品開発
 - (5) グローバル開発・生産体制
3. 2020年長期方針

デンソーグループ・グローバル中期方針

1. 持続的成長に向けた事業拡大へのチャレンジ
 - (1) 顧客(カーメカ)との関係深化と成長する新興国市場での事業拡大
 - (2) 車の魅力向上に繋がるシステム商品の創出
 - (3) 市販事業の拡大と新事業の育成
2. 世界初を生み出し続ける企業への進化
 - (1) 世界初にこだわる商品開発力の向上
 - (2) ダントツのコスト競争力を持つ
グローバル調達・生産・供給体制の構築
3. グローバルな総智総力の発揮とスピード経営の実現
 - (1) デンソーグループ12万人の総智総力の結集
 - (2) スピード第一で行動する職場・風土への変革

15年目標 “売上高4兆円”“営業利益率8%”**DENSO**©2015 DENSO CORPORATION. All rights reserved.
This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

2012年の4月に2015年中期方針を発表いたしました。

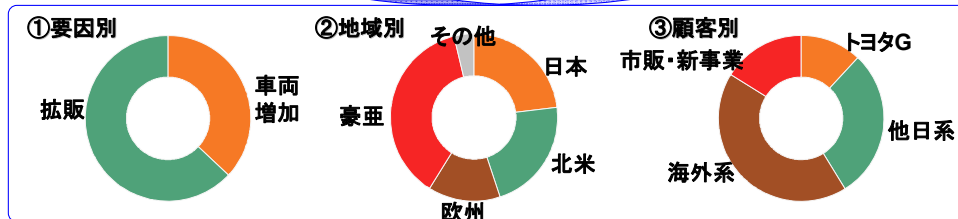
1. 持続的成長に向けた事業拡大へのチャレンジ、
 2. 世界初を生み出し続ける企業への進化、
 3. グローバルな総智総力の発揮とスピード経営の実現
- の3つをグローバル方針として掲げ、
2012年度はその初年度としてグループ一丸となり推進しています。

2015年(2016/3月期) 目標

～2012年4月発表～

	12/3期	13/3期	16/3期	増減
世界車両生産	7,900万台	8,294万台	9,960万台	+6%/年
売上高	3兆1,546億円	3兆5,809億円	4兆円	+7%/年
営業利益	1,607億円	2,624億円	3,200億円	
営業利益率	5.1%	7.3%	8.0%	

売上 +約8,500億円



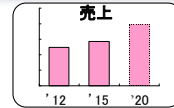
DENSO

©DENSO CORPORATION All rights reserved. This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

具体的な目標値として、売上高4兆円、営業利益率8%を掲げ、それを達成するための拡販、技術開発、体制強化を行っています。

為替や市場など外部環境は刻々と変化をしておりますが、活動としては着実なステップを進めています。

燃費改善・CO2削減に向けたパワートレイン技術



小型化
低燃費の小型車
部品の小型軽量化

電動化
ハイブリッド・電気自動車

システム化
システム間連携による省燃費

▶内燃機関エンジンの高効率化

- ・ガソリン直噴
- ・ディーゼルコモンレール

事例



直噴高圧ポンプ

▶アイドルストップシステムの対応

- ・スタータの始動性/耐久性向上
- ・省燃費システム

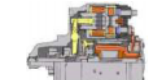


コモンレールシステム

▶ハイブリッド製品の小型/軽量化

- ・インバータ
- ・モータジェネレータ

事例



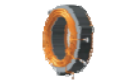
タンデムソレノイドスタータ



インバータ

▶車全体のエネルギーマネジメント

- ・熱・電力マネジメント



モータジェネレータ

DENSO

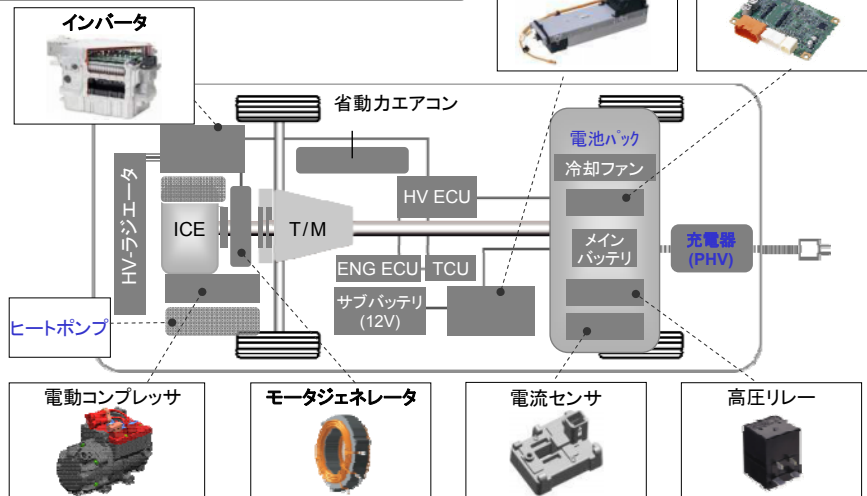
©DENSO CORPORATION All rights reserved. This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

成長を支える技術として1つ目が、
燃費改善・CO2削減に向けたパワートレイン製品です。

地球環境への負荷低減で、自動車産業が果たす役割は
ますます増えており、車両の小型化、電動化、システム化が
進んでいきます。

デンソーでは内燃機関からハイブリッド・EVに至る
幅広い分野で開発を続けております。

ハイブリッド車製品の小型・軽量化



新クラウン(インバータ)・アクア(モータージェネレータ用ステータ)に採用

DENSO

青字:開発中の製品

This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

ハイブリッド製品では、特に日本および北米地域において環境にやさしいハイブリッド車の比率は徐々に高まっています。特に今後の車両の電動化を念頭に、インバータと、モータージェネレータには注力しています。

インバータは、独自の両面冷却技術により小型化と大電力化を両立し、前年のカムリに続き、新しいクラウンにも採用されています。

モータージェネレータは、オルタネータで培ってきた高密度な巻き線技術により、小型かつ高効率な発電を可能とするステータがトヨタ自動車(株)のアクアに採用されています。

それぞれコストを抑えながら、燃費効率の大幅な向上に貢献しています。

内燃機関エンジンの高効率化 - ガソリン直噴・ディーゼル



マツダ・SKYACTIV に採用

～車両の燃費改善に大きく貢献～



© 2014 DENSO CORPORATION. All rights reserved. This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

ガソリンとディーゼルでは、最近では内燃機関エンジンでも燃費改善や排ガス排出の低減を可能とする技術開発が進んでいます。

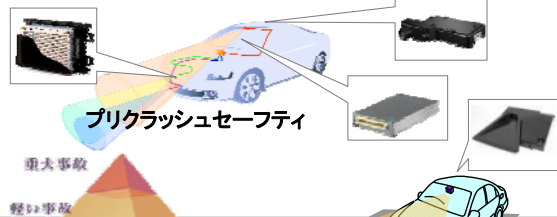
日本では、マツダ(株)のSKYACTIVシリーズが好評ですが、当社の噴射圧を高めたガソリンの直噴システムや、ディーゼルのコモンレールシステムが採用され、ともに燃費改善に大きく貢献しております。

安全分野の技術開発



もしもの安全

緊急時に危険回避
(万一衝突時は被害軽減)

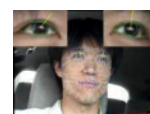


いつもの安心

通常時にドライバーの
心の余裕を育む



歩行者検知ナイトビュー



ドライバモニタリング



© DENSO CORP. All rights reserved. This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

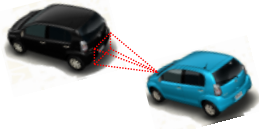
環境ともう一つの事業の柱として力を入れている技術が、
安心・安全分野です。

モータリゼーションの進化により、新興国を中心に
自動車保有台数が増加していますが、一方で交通事故も
増加するという面があります。

デンソーでは「もしもの安全・いつもの安心」をスローガンに、
交通事故を未然に防いだり、
万が一の事故発生時にもその被害を軽減できるような製品や、
運転に対する苦手意識や不安を取り除き、
安心した状態での運転をサポートできる製品の開発に
取り組んでいます。

（事例）ムーヴ（スマートアシスト用レーザーレーダ）

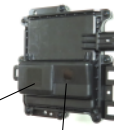
スマートアシスト（ダイハツ）



- ①低速域衝突回避支援ブレーキ
- ②誤発進抑制制御
- ③先行車発進お知らせ
- ④VSC & TRC

上記システム機能のうち、①～③の前方検知センサとして使用

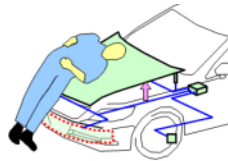
レーザーレーダが前方を監視。
認識結果から衝突回避、被害軽減をアシスト



低速域での使用を念頭に機構を簡素化
小型レンズ・統合ECUにより小型化

（事例）クラウン（ポップアップフード用センサ）

ポップアップフード



車両と歩行者が衝突した際、
フードを瞬時に持ち上げて
歩行者への衝撃を緩和する



中空構造体 ●:歩行者
衝突位置が異なる場合でも安定した計測



© DENSO CORP. 2014. All rights reserved. This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

最近の事例ではダイハツさんの新型ムーヴに搭載されているスマートアシスト機能にデンソーのレーザーレーダが採用されています。

軽自動車に求められるニーズを考慮し、市街地・渋滞時の低速時走行を念頭に機能を集約し、小型化・低コスト化を実現しております。

また、新型クラウンにはポップアップフード用のセンサーが採用されました。ポップアップフードとは、歩行者との衝突時に頭部への衝撃を緩和する機能ですが、デンソーの開発したセンサーが、衝突位置が異なる場合でも安定した検知を可能としております。

新型クラウンには多くの安全機能が搭載されており、デンソーはシステム制御を中心に貢献しております。

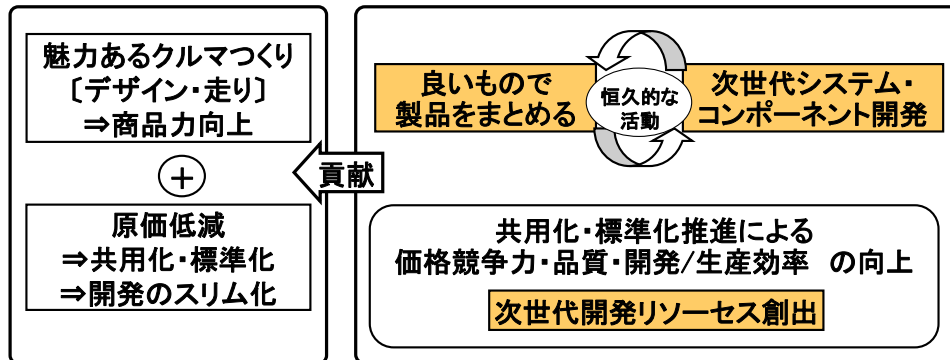
トヨタTNGA活動(もっというクルマづくり)への取り組み 18 / 28

デンソーの目指す姿

※TNGA : Toyota New Global Architecture

<トヨタ TNGA活動>

<デンソー>



良いもの(世界一の競争力製品)で(標準化要素を入れて)数をまとめる

DENSO

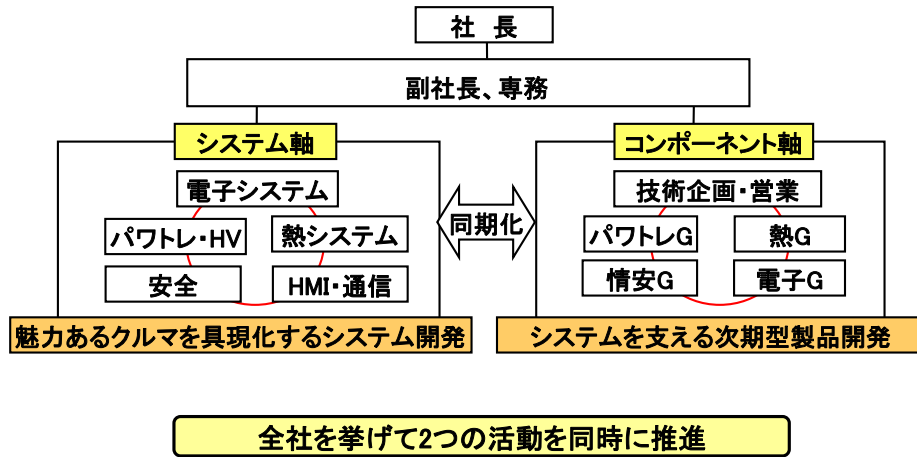
©DENSO CORPORATION. All rights reserved.
This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

次にトヨタ自動車(株)の推進するTNGA活動への取り組みをご紹介します。

「もっというクルマづくり」を目指すTNGA活動では、特にデザインや走りの面で魅力あるクルマづくりのための、商品力向上が基本コンセプトですが、同時に、原価低減のための、部品の共用化や標準化、そして開発のスリム化も求められています。

それに対して当社も良いもので数をまとめ、その成果を生かして、次世代をリードするシステムやコンポーネントの開発をおこない、それによってまた良いもの生み出すという恒久的なサイクルをまわしていきたいと考えます。

デンソーの取り組み ~ 推進体制

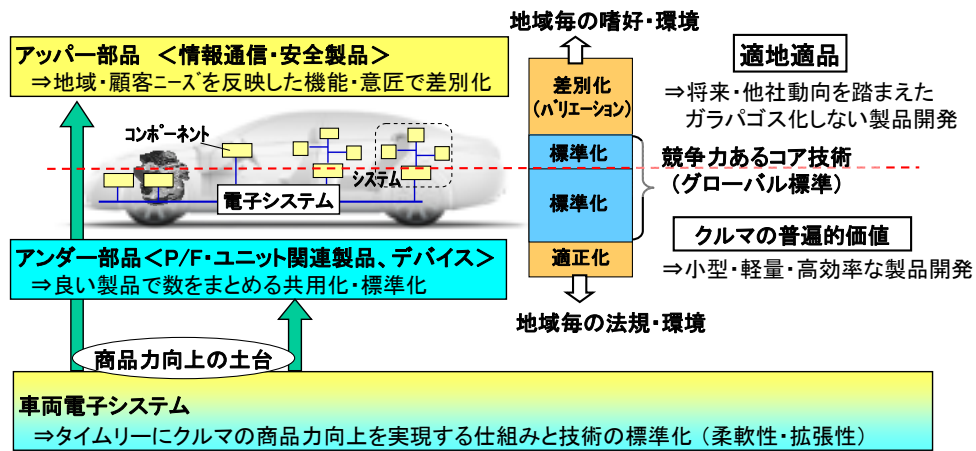


DENSO

This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

魅力あるクルマを具現化するシステム開発のために、
事業グループをまたいだ開発を進め、同時に各事業グループでは
システムを支える次期型コンポーネント開発に取り組むという
両輪の活動を、全社を挙げて推進していきます。

デンソーの取り組み ~開発の層別(差別化と標準化)



DENSO

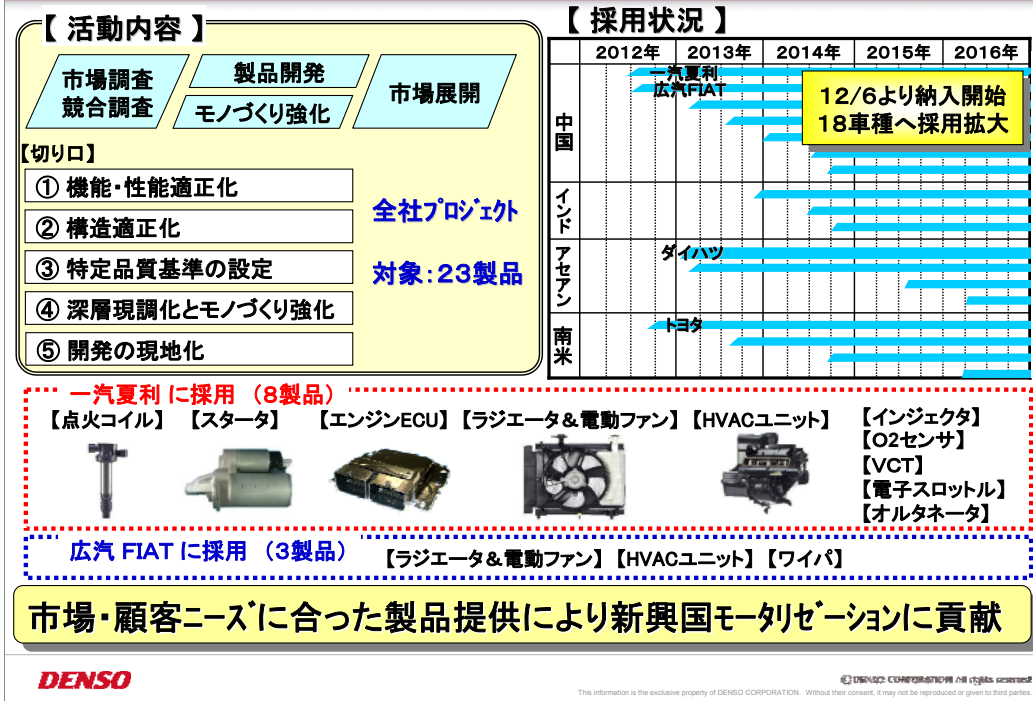
This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

TNGAでは差別化する部品と標準化する部品を明確にしていますが、その層別についてご説明します。

機能や意匠が重視されるアップパー部品では地域や顧客ニーズを反映した差別化を行っていきます。

一方でアンダー部品は、競争力のあるコア技術で数をまとめることで、共用化・標準化を目指していきます。

また、車両電子システムは、タイムリーにクルマの商品力向上を実現する仕組みと技術の標準化を行い、将来のニーズに柔軟に応えられるような拡張性を持たせた土台づくりを行っていきます。



次に、新興国向けの製品開発の進捗についてご紹介します。

09年から進めてきましたコストハーフ活動は、新興国の現地ニーズに適した製品を現地で開発・調達・生産するコンセプトで全23製品で進めてきておりますが、その採用も順調に増加しており、現時点では18車種への採用拡大が決まっております。

中国の現地メーカーである一汽夏利や広州フィアットにも昨年の6月からご覧の製品を納入させていただいております。

引き続き市場や顧客のニーズに合った製品を提供することで、新興国のモータリゼーションに貢献していきます。

コアテクニカルセンター(T/C)とサテライト拠点

コアT/C	日本	北米 ミシガン	欧州 ドイツ(アーヘン)	豪亜 タイ(バンコク)	中国 上海	インド デリー	南米 サンタバーバラ
サテライト 拠点	国内G会社 韓国	テネシー、 カルフォルニア	イギリス、 イタリア、チェコ スウェーデン	ベトナム、フィリピン、 オーストラリア他	華北、西安、 華南、台湾	—	—



7地域での最適なグローバル開発体制

DENSO

© DENSO CORPORATION. All rights reserved.

This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

地域最適製品を開発するための体制をご紹介します。

日本、欧州、北米の他に、アセアン、中国、インド、南米を含む7つの地域で現地開発体制を強化しております。

特にブラジルやタイでも風洞実験設備を備え、地域の顧客ニーズにスピーディーに対応できる体制がグローバルに整っております。

インド<ハリナ+ジャージャー工場>

投資額 : 約42億円
 生産開始 : 2013年7月
 従業員数 : 450人(2013年7月計画)
 面積 : 建屋面積12,000㎡
 業務内容 : 小型モーター、エンジンクーリングモジュールの製造販売

メキシコ<シラオ工場>

投資額 : 約45億円
 生産開始 : 2013年10月
 従業員数 : 400人(2015年計画)
 面積 : 建屋面積25,600㎡
 業務内容 : カーエアコンの製造

インドネシア<フージャー工場>

投資額 : 約94億円
 生産開始 : 2014年2月
 従業員数 : 1,300人(2016年3月計画)
 面積 : 建屋面積24,000㎡
 業務内容 : エンジンECU、VCT、スタータ、オルタネータの製造

ブラジル<サンパ-バラ工場>

投資額 : 約38億円
 従業員数 : 342人(2012年6月現在)
 面積 : 建屋面積30,200㎡
 業務内容 : カーエアコン、クーリングモジュールの製造
 (2012年9月より)スタータ、ワイパの製造

**グローバルネットワーク
215社
(35の国と地域)**

設備投資計画<13年度>
2,600億円
 (前年比+294,+13%)

- ・日本 1,300 (+67)
- ・北米 320 (+115)
- ・欧州 210 (+19)
- ・豪亜 700 (+74)
- ・その他 70 (+29)

グローバルに生産体制を拡充

2013年3月29日現在



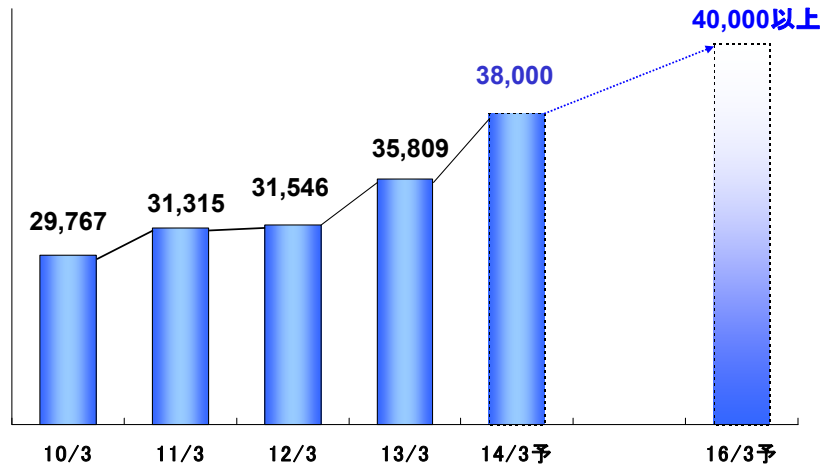
This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

また生産拠点についても、グローバルに新工場を建設し、
 市場の拡大・顧客の能力増強に合わせた生産体制の拡充を進めて
 おります。

2013年度の設備投資は年間で2,600億円を予定しており、
 日本や豪亜で引き続き高い水準の投資を継続する他、
 市場の拡大が見込まれる北米も投資を増加させる予定です。

2016年3月期 売上4兆円、営業利益率8%を目指す

売上高の推移 (億円)

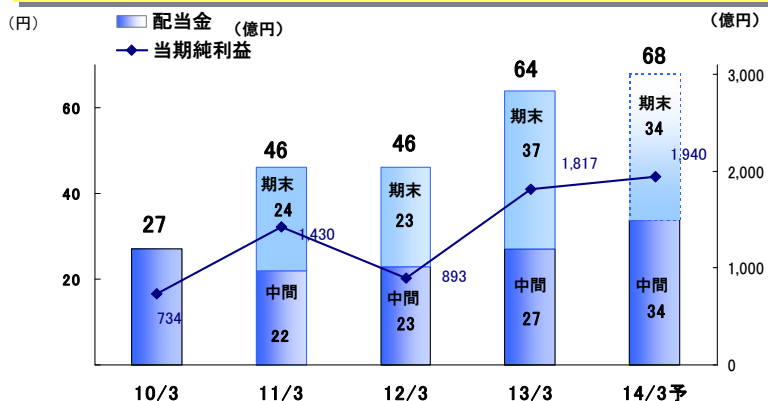


©DENSO CORPORATION 2015 All rights reserved.
This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

本日は、中期計画とその取り組みの一部をご紹介をいたしました。

目標である売上高4兆円、営業利益率8%に向かい、
チャレンジしていきます。

13/3期 利益処分 : 12/3期より 18円増配の64円を予定
 14/3期 利益処分 : 13/3期より 4円増配の68円を予定



DENSO

© DENSO CORP. 2014. All rights reserved. This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without that consent, it may not be reproduced or given to third parties.

最後に、配当につきましては、期末は37円、
 年間では、18円増加の64円を予定しております。

また、来期の配当は、当期に対し4円増配の、
 年間68円とさせていただく予定です。

地球と^{いのち}生命を守り、
次世代に明るい未来を届けたい。



地球環境の維持

安心・安全

にこだわり、今後10年の私達の使命として取り組む

DENSO

© DENSO CORPORATION All rights reserved.
This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

本日、「デンソーグループ2020年長期方針」を発表いたしました。
これは今後、2020年に向けて、会社の目指す方向性を示す
経営の羅針盤としてのビジョン・要綱に相当するものです。

そのスローガンは
「地球と生命を守り、次世代に明るい未来を届けたい。」
としました。

世の中に届ける価値として、
地球環境の維持と、安心・安全にこだわり、
今後10年の私たちの使命として取り組んでいきます。

環境分野の技術開発の考え方

環境負荷ゼロ
社会実現

社会全体

技術の拡がり



DENSO

© 2019 DENSO CORPORATION. All rights reserved.

This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

技術開発の考え方、方向性を紹介します。

まずは環境分野についてです。

パワートレインにおける、

- ・内燃機関の進化、
- ・燃料の多様化への対応、

クルマ全体における、

- ・電動化への対応、
- ・エネルギーマネジメント、

社会全体における、

- ・マイクログリッドなど社会システムへの対応を通し、

環境負荷ゼロ社会の実現に

一歩でも近づいていきたいと考えています。

安心・安全分野の技術開発の考え方

交通事故ゼロ
社会実現



DENSO

© DENSO CORPORATION. All rights reserved. This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

次に安心・安全分野についてです。

クルマ自体は

- ・衝突時の被害軽減から、
- ・衝突回避に技術を進化させ、

ドライバーへは負荷低減を目指す一方、
社会全体のシステムとも協調しながら、

交通事故ゼロ社会の実現に

一歩でも近づいていきたいと考えています。

DENSO

- ・四半期毎の売上高・営業利益推移
- ・単独決算概要
- ・前提となる為替レート／車両生産台数
- ・得意先別売上
- ・製品別売上
- ・設備投資・償却費・研究開発費

単独決算概要

損益計算書

()内は売上高比

【単位: 億円, %】

科 目	13/3期実績		12/3期実績		前年比		14/3期予想		前年比	
	増減額	増減率	増減額	増減率	増減額	増減率	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	(100.0)	22,768	(100.0)	20,316	2,452	12.1	(100.0)	23,150	382	1.7
売上原価	(88.1)	20,061	(90.8)	18,445	1,616					
販売費及び一般管理費	(6.5)	1,471	(6.7)	1,352	119					
営業利益	(5.4)	1,236	(2.6)	519	717	138.1	(6.7)	1,550	314	25.4
営業外収支		722		621	101			500	△ 222	
経常利益	(8.6)	1,958	(5.6)	1,140	818	71.8	(8.9)	2,050	92	4.7
特別損益		3		△ 11	14			0	△ 3	
税引前当期純利益	(8.6)	1,961	(5.6)	1,129	832	73.7	(8.9)	2,050	89	4.5
当期純利益	(6.4)	1,460	(3.9)	792	668	84.5	(6.6)	1,520	60	4.1

DENSO

©DENSO CORP. 2014. All rights reserved.

This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without that consent, it may not be reproduced or given to third parties.

前提となる為替レート／車両生産台数

		上期			下期			13/3通期			14/3通期	
		前年実績	当年実績	前年比	前年実績	当年実績	前年比	前年実績	当年実績	前年比	予想	前年比
為替レート (円)	USD	80	79	1円 円高	78	87	9円 円安	79	83	4円 円安	90	7円 円安
	EUR	114	101	13円 円高	104	114	10円 円安	109	107	2円 円高	120	13円 円安
1円変動の 利益影響額 (億円)	USD							29	32	3	28	-4
	EUR							7	7	-	7	-
日系車両生産 台数 (万台)	国内	373	474	+27%	516	445	△ 14%	889	919	+3%	904	△ 2%
	北米	156	247	+58%	239	255	+7%	395	502	+27%	558	+ 11%
	海外日系車	679	830	+22%	787	833	+6%	1,465	1,663	+14%	1,769	+ 6%

DENSO

© 2014 DENSO CORPORATION. All rights reserved.

This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without that consent, it may not be reproduced or given to third parties.

得意先別売上

【単位:億円, %】

区 分	13/3期実績(累計)		12/3期実績(累計)		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
トヨタ	16,805	47.0	14,103	44.7	2,703	19.2
ダイハツ	1,007	2.8	927	2.9	79	8.6
日野自動車	508	1.4	464	1.5	44	9.6
トヨタグループ計	18,320	51.2	15,494	49.1	2,827	18.2
本田技研	2,487	7.0	1,971	6.2	515	26.1
G M	906	2.5	833	2.6	73	8.8
現代・起亜	903	2.5	779	2.5	124	15.9
スズキ	868	2.4	779	2.5	88	11.3
富士重工業	730	2.0	553	1.7	177	32.0
フォード	723	2.0	599	1.9	124	20.7
フィアット	675	1.9	777	2.5	△ 102	△ 13.1
マツダ	664	1.9	548	1.7	116	21.1
クライスラー	613	1.7	538	1.7	75	13.9
V W ・ A U D I	612	1.7	595	1.9	17	2.8
いすゞ	512	1.4	435	1.4	77	17.8
三菱自動車	454	1.3	469	1.5	△ 15	△ 3.2
日産自動車	402	1.1	339	1.1	63	18.6
B M W	294	0.8	280	0.9	14	5.0
ベンソン	248	0.7	217	0.7	31	14.5
ジャガー・ランドローバー	179	0.5	184	0.6	△ 6	△ 3.0
P S A	146	0.4	159	0.5	△ 13	△ 8.2
その他メーカー	2,465	6.9	2,586	8.2	△ 120	△ 4.7
O E M 計	32,200	89.9	28,136	89.2	4,065	14.4
※ 市販・新事業他	3,809	10.1	3,411	10.8	198	5.8
合 計	35,809	100.0	31,546	100.0	4,263	13.5

※ OES(メーカー補給含む)、一般市販、新事業、設備売上等を含む

DENSO

© 2013 DENSO CORP. All rights reserved.

This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without that consent, it may not be reproduced or given to third parties.

製品別売上

【単位:億円, %】

区 分	13/3期実績(累計)		12/3期実績(累計)		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
パワーtrain機器計	12,382	34.6	10,602	33.6	1,781	16.8
熱機器計	10,575	29.5	9,404	29.8	1,172	12.5
情報安全計	5,769	16.1	5,346	17.0	423	7.9
電子機器計	3,421	9.6	2,854	9.0	566	19.8
モーター	2,560	7.2	2,309	7.3	251	10.9
その他※	517	1.4	456	1.4	61	13.4
自動車分野計	35,224	98.4	30,970	98.1	4,254	13.7
産業・生活関連機器	427	1.2	426	1.4	1	0.2
その他	158	0.4	150	0.5	8	5.3
新事業分野計	585	1.6	576	1.9	9	1.6
合 計	35,809	100.0	31,546	100.0	4,263	13.5

※ 設備売上、補修品、子会社オリジナルブランド製品等

DENSO

© 2013 DENSO CORPORATION. All rights reserved.

This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without this consent, it may not be reproduced or given to third parties.

設備投資・償却費・研究開発費

【単位:億円】

		12/3期 実績	13/3期 実績	増減率	14/3期 予想	増減率
設備投資	日本	1,031	1,243	20.6%	1,300	4.6%
	北米	122	205	68.0%	320	56.1%
	欧州	187	191	2.1%	210	9.9%
	豪亜	382	626	63.9%	700	11.8%
	その他	72	41	▲43.1%	70	70.7%
	合計	1,794	2,306	28.5%	2,600	12.7%
償却費	日本	1,344	1,315	▲2.2%	1,350	2.7%
	北米	146	145	▲0.7%	180	24.1%
	欧州	111	107	▲3.6%	130	21.5%
	豪亜	185	222	20.0%	270	21.6%
	その他	21	23	9.5%	30	30.4%
	合計	1,806	1,811	0.3%	1,960	8.2%
研究開発費 (売上高比)		2,984 (9.5%)	3,355 (9.4%)	12.4%	3,500 (9.2%)	4.3%

DENSO

©DENSO CORP. 2014. All rights reserved.

This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without that consent, it may not be reproduced or given to third parties.